

Proposal for Generation Panel for Japanese Label Generation

Rules for the Root Zone (作成中)

1. General Information

[日本語のバックグラウンド]

現代の日本語を書き表すために主に使われている文字は漢字、平仮名、片仮名、英数字である。漢字は AD5 世紀ごろに中国から輸入した。平仮名や片仮名は AD10 世紀ごろに漢字を崩したり漢字の一部を使って日本で作られた音節文字である。アルファベットは AD16 世紀以降に西欧から入ってきたが、一般に使われるようになったのは AD19 世紀以降である。

平仮名や片仮名はそれらが作られた当初から漢字と入り混じって使われており、日本語の書記方法として長らく定着している。さらに、近代になってからは漢字・平仮名・片仮名に混じって英数字も使われるようになり、たとえば英字と漢字が混ざった商号等、それら複数の用字の入り混じった書記方法が常態化、定着している。

1.1. Target Script for the Proposed Generation Panel

[ISO 15924 での Script コードの説明]

日本語の書記方法で使う Script は前述の通り漢字、平仮名、片仮名、英数字である。

ISO 15924 code: Jpan

ISO 15924 no.: 413

English name: Japanese (alias for Han + Hiragana + Katakana)

漢字の範囲

CJK Symbols and Punctuation: 3005, 3006

CJK Unified Ideographs: 4E00–9FCC

CJK Unified Ideographs Extension A: 3400–4DB5

CJK Unified Ideographs Extension B: 20000–2A6D6

CJK Unified Ideographs Extension C: 2A700–2B734

CJK Unified Ideographs Extension D: 2B740–2B81D

平仮名の範囲

Hiragana: 3041–3096, 309D–309E

Katakana: 30A1–30FA, 30FC–30FE

ISO 15924 code: Latn

ISO 15924 no.: 215

English name: Latin

英字の範囲

Basic Latin: 0061–007A

[英字を含めることができるかは IP に確認中]

1.2. Principal Languages using the Script

[日本語文字を使う言語の紹介]

[漢字を使う言語の紹介]

漢字は中国、台湾、香港、澳門、マレーシア、シンガポール、韓国などで使われてきた。

日本語で使われる漢字は中国から輸入されたものだが、1000 年以上の歴史の中で日本固有の文字(国字)が追加されたり、日本固有の簡略化(新字体の作成)が行われたりしている。公的文書、新聞、一般書籍等で使われる漢字は常用漢字の範囲であり、2100 文字あまりが規定されている。また、常用漢字に含まれない人名漢字が 860 文字あまり規定されている。その他、地名や歴史的名称を表すため、日本国内で広く普及している規格である JIS X 0208 では 6300 文字あまりが規定されている。

日本語における異体字としては主に簡略化前の旧字体と簡略化後の新字体の対応が存在しているが、人名や組織名など名前に対しては、旧字体と新字体は別の文字として使われることが多い。

中国語で使われる漢字は簡体字(中国本土、シンガポールなどで使用)と繁体字(台湾、香港、澳門などで使用)がある。簡体字は、繁体字の中でよく使われるものを書きやすくしたものと捉えることができ、簡体字と繁体字は可換な異体字であると認識されている。なお、簡体字を使う国・地域で繁体字を使うこと、およびその逆はほぼない。

韓国で使われる漢字はほぼ繁体字であるが、現代韓国語の書記方法としてはハングルのみが用いられており、公的文書、新聞、一般書籍等で漢字が使われることはほぼない。

[平仮名・片仮名を使う言語の紹介]

平仮名、片仮名は日本で発明された文字であり、日本でのみ使用されており、他の国や地域では使用されていない(脚注: パラオ共和国アンガウル州

<http://en.wikipedia.org/wiki/Angaur>)。平仮名、片仮名はともに音節文字であり、同じ発音に対してそれぞれ対応する文字があるが、それらは異体字とはみなされていない。平仮名は主に漢字の送り仮名や副詞、接続詞、難読漢字を平易に書き表す場合などに使われる。片仮名は主に外来語や擬声語で使われる。

[英字を使う言語の紹介]

英字はアラビア数字と同様に世界中の多数の国や地域で使われている。日本語における英字は主に外来語や略語を表すために使われる。会社名や商標名などで漢字・平仮名・片仮名と入り混じって使われることがある。

1.3. Countries with Significant User Communities for the Script

[以下は CGP の定義をそのままコピー]



Proposal for Japanese Generation Panel

	<i>Hans(Traditional Chinese script) used exclusively or almost exclusively (Taiwan, Macau and Hong</i>
	<i>Hans(Simplified Chinese script) used formally but Hant (traditional script) continue to be used widely</i>
	<i>Hans(Simplified Chinese script) used exclusively or almost exclusively (Mainland China)</i>
	<i>Hani(Chinese script) used in conjunction with other systems of writing in the same language, Hanja(Republic</i>

<http://www.freemap.jp/item/asia/kouiki.html>

2. Proposed Initial Composition of the Panel

2.1. Panel Chair and Members (with Expertise)

候補者のリストと、候補者の専門性の背景

別途全員の Bio を書き連ねます(下に事務局で把握している範囲で、同じくらいのサイズで書いてみました。メンバ各位の確認・修正提案お願いします)

堀田さん(Chair)

- Council member of ICANN ccNSO
- Treasurer of APTLD
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

前村さん(Vice-Chair)

- Chair of APNIC EC
- Former Member of NETmundial EMC
- Former board of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Former member of JANOG committee

後藤先生

- President of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Member of Telecommunications Council, Japanese Government

Proposal for Japanese Generation Panel

- Vice chair of Asia Pacific Advanced Network (APAN)
- Chair of JP Domain Name Advisory Committee
- Former vice chair of Japan Internet Domain Name Council
- Former chair of Japanese Domain Names Association (JDNA)
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

小西さん

- Secretary general of Asia Pacific Advanced Network (APAN)
- Co-author of JET Guideline (RFC 3743)
- Former professor of Cyber University
- Former board of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Former board of Japanese Domain Names Association (JDNA)
- Founder of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

久保先生

- Member of Internet Association Japan Council (IAJapan)
- Former panelist of prefecture type JP domain name sunrise period
- Former committee member of Japan Internet Domain Name Council
- Former member of JPNIC Domain WG (DOM-WG)
- Former member of JPNIC Dispute Resolution Policy Taskforce (DRP-TF)

田代さん

- Member of ISO/IEC JTC1/SC2/WG2/IRG
- Secretary of IPA Character Information Infrastructure
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC Domain WG (DOM-WG)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

米谷さん

- Co-chair of IETF precis WG
- Co-author of downgrading mechanism for EAI (RFC 5504)
- Board of DNS operator group Japan (DNSOPS.JP)
- Former member of ICANN IDN VIP Chinese Case Study Team
- Former secretary general of Japanese Domain Names Association (JDNA)

- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former chair of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

2.2. Panel Diversity

パネルの多様性の説明: 今後埋めます

2.3. Relationship with Past Work or Working Groups

[JPNIC DOM-WG、IDN-TF、JET との関係]

IANA に登録された日本語 JP ドメイン名用に開発された IDN テーブル(JA-JP)の検討経緯及び IDN テーブルの特徴を記述

3. Work Plan

3.1. Suggested Timeline with Significant Milestones

チャーターをベースにざっくり記述しました。提出時には、CGP・KGP にも相談してスケジュールを見直し、最新にしたものとします。

8-9 月 JGP 設立準備

JGP 準備会合[JGP 体制/スケジュール/方針の共有・合意]

10 月 JGP 設立申請[対 ICANN]

JGP 設立申請したことを発表[対国内一般]

日本語ルール方針案・CJK 対応方針作成、パブコメ募集準備

JGP 会合(日本語ルール方針案・CJK 対応合意/パブコメ内容確認)

CJK 調整委員会

日本語ルール方針案パブコメ募集

11 月 パブコメ回答案・日本語ルール案作成

JGP 会合(パブコメ回答確認/日本語ルール案合意)

日本語ルール修正案作成、パブコメ募集準備

JGP 会合(日本語ルール修正案合意/パブコメ内容確認)

12 月 パブコメ募集・パブコメ回答案作成

日本語ルール修正案作成

- 1 月 JGP 会合(パブコメ回答確認/日本語ルール修正案合意)
日本語ルール案提出[対 ICANN]
ICANN(統合パネル)との調整

※ 本活動予定は最速のケースを想定したものであり、検討項目の増減、CJK 間調整等の状況により適宜予定を修正する

3.2. Proposed Schedule of Meeting and Teleconferences

毎月 1～2 回の会合を予定

3.3. Sources of Funding for Travel and Logistics

事務局である JPRS もしくは JPNIC が会議場所および必要に応じリモート参加環境を提供。また、会議場への交通費やリモート参加に要する機材等は、メンバー各位が負担する。

3.4. Need for ICANN Provided Advisors

パネル創設当時は、特に想定していない。ただし、検討の進展中において、必要に応じアドバイスを依頼することはある。

References

このドキュメント中の外部参照リスト